



2007年7月1日発行
発行人：村尾 憲一郎
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通8 神港ビルヂング509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子

～～6月例会報告～～

KEY (匿名希望)

6月の例会は21日、大変神戸らしい場所トアロードの一番北にある“神戸外国倶楽部”で行われた。神戸外国倶楽部は138年の歴史がある神戸に住む外国人の為の社交クラブで、今の場所は、元の“トア・ホテル”があった場所だそう。 (建物は当時のものではないが・・・)

佐井副会長がこちらのメンバーなので、例会をぜひここでアレンジして下さったとのことだ。

梅雨も一休みの晴れてさわやかな夕方、窓の向こうの景色を楽しみながら、小ぶりの人数での会が始まった。村尾幹事長による司会も、広瀬会長の挨拶もマイクがないので生声?だったが、よりいっそうの親しみが感じられて良かったと言うものの。

会務報告ではまず、浅沼会員が新会員の塩谷さんを紹介された。塩谷さんは、5月に大阪から神戸に転居されたのを機に、神戸慶應倶楽部への入会を決められたそう。おめでたいことに、この日が誕生日で70歳の古希を迎えられたとのこと。以前は仕事中心の生活だったけれど、これからはご自分の為の時間を過ごしたいという思いを語られていた。(ちなみに 同期の浅沼さんは「古希は未だです」とか。)

その他、来月のサマー・パーティ(7/21)のPR、会員増強のリクエスト、総会にはいらしていなかった山上副幹事長の紹介等がなされた。

そしていよいよ、阪本副会長の音頭により乾杯!の後、ビュッフェスタイルでおいしいお料理を戴いたり、おしゃべりをしたりと和やかな時間が流れた。

そんな中、五代顧問によるイーゼル会グループ

展のお知らせが。(編集部注:4ページに詳細あり)

好きな趣味であっても、目標をもって続けていくのは、努力も要れば苦労もあるもの。

イーゼル会の皆さんが第2回のグループ展を開催できるとは素晴らしいことだ。

私も趣味のバイオリンで、難しい曲に挑戦しては苦難の道を歩んでいるが、イーゼル会の皆さんの日頃の成果を篤と拝見し、大いに刺激を受けたいと今から楽しみにしている。皆さんもぜひお出かけ下さい!



(例会スナップを倶楽部ルームに掲示しています。)

当日のメニューには、レインボーロール・明石蛸と帆立貝のマリネ・牛肩ロース肉のガーリックロースト・仔牛のソテー・地鶏とつくねの幽霊焼き・スズキのムニエル等々豪華料理が盛沢山だったことを追記させていただきます。

(編集部)

「ゼミの思い出」(二) 川田寿先生ご夫妻のこと

浅沼 清之(昭36経)

川田寿先生ご夫妻の足跡に思いを巡らす時、私達は、先生が学生に囲まれて心豊かに過ごされた後半生の姿を思い起こすことが多いのであるが、前半生は若くして慶應義塾に学び、先鋭的な革新派であったと聞く。

軍国主義に傾く日本の体制を批判し、労働者の権利の擁護と、反戦の為の戦いの日々であったと推察される。日本で思想弾圧が始まる時期に、事実上の亡命を余儀なくされ、渡米し、ペンシルバニア大学に学んで卒業後、アメリカの労働運動に身を投じた。その時期に定子夫人とも結ばれている。日米開戦の直前に、日本に帰国し、その後、戦時下のいわゆる横浜事件に連座され、治安維持法のもとで、でつち上げの言論弾圧を受けた。そのため、ご夫妻が獄中で悲惨な体験をされたことを卒業後初めて知った。横浜事件の凄まじい証しを身体に刻まれながら、その悲惨な体験を学生達に語ることは一切無く、後半生において、人間不信に陥ることなく、ゼミ学生を自分の宝物の如く大切にされた姿は畏敬するのみである。

敗戦後、釈放され慶應義塾に席を置かれたのが、一九五一年であった。川田先生の国際交流の手法や、学生指導、研究の姿勢に到るまで、当時の慶應義塾の中では、極めて个性的(異端)であるという評価であったと聞く。

今にして思えば、新しい日本を支える若者達の教育に専念したい、という新たな気持から、時代の先取りを意図されたのかもしれない。当時の私達学生にとっては、インパクトの強い指導者であったという思いが強い。

フォーマルな講義よりも、波乱に富んだ人生を通じて身につけた信念が、教育者としての姿勢の基本になっていたのだと思う。そのような先生に寄り添って、支えてこられた奥様も、学生にとって日吉山荘や山小屋合宿では欠かせない優しい存在であったし、終戦までのご苦労を全く感じさせることは無かった。修羅場を経てこられたにもかかわらず、温厚で、優しい仏様のような境地になっておられた。先生亡き後、奥様は南紀白浜の協栄年金ホームをご自分で充分に調査し、現地検分もされた結果、入居されることになるが、その際の決断や諸々の対応を通じて、真に自立した人間の姿を、私達に示していただいたと感じている。戦前の昭和初期に、女独りでアメリカに渡り、川田先生との運命的な出会い、共に過ごした滞米時代の特異な経験、そして日本へ帰国後の激動期の過酷な体験を心に秘めたまま、白浜海岸の散策や風景画の製作に楽しみを見出すなど、静かな時の流れに身をおかれた。

川田会のメンバーが、交代で慰問旅行を企

画することになり、私も何度か白浜をお訪ねしたが、私達の訪問時間を待ちきれず、年金ホームの玄関に早くから立って、出迎えていただいた姿に胸が熱くなる思いであった。

喜寿や傘寿のお祝いに、白浜から東京のホテルにお連れしたり、米寿、卒寿祝いを白浜で開いたりして喜んでいただいたのであるが、他のゼミでは例が無いかもしれない。川田ゼミのシンボリック存在であった日吉山荘の処分に当たっても、新しい所有者の配慮と川田会会員の協力のお陰で、ほとんど昔のままの姿で残っている。慶應グラウンド上の桜を眺めながら花見の宴を楽しんだ思い出深い場所である。売却の後、五百万ものお金を奥様から川田会に寄託されている。一九九九年六月に思いもかけず急逝されたが、川田会の総会に併せて開催した追悼会には、百人を超える会員が出席し故人をお偲びした。



在りし日のご夫妻
(日吉山荘にて・1956年秋)

二十世紀初頭から末までの時代を生き、先生ご夫妻の人生は、私達の心から消えることは無い。

(続く)

会員だより

《バリ島旅行記》その3

池田 雅彦 (昭39工)

今回は私にとっては4度目のバリ旅行です。最初は日本からのパック旅行ばかりでしたが、行くところは決まって寺院や遺跡、そして点在する芸術村でみやげ物を見て回るだけでした。そんな旅行をしているうちに『一度で良いから世界の観光地バリだけでしか味わえないところでゆっくりと過ごして見たい』と思うようになりました。バリ独特の落ち着いた雰囲気と美しい景色、そして安全で、日本人にやさしい人々に触れて虜になってしまったのです。

そんなバリ島がどうして生まれたのか？という素朴な疑問から、バリに関する色んな本も読んでみました。それはオランダ植民地時代にさかのぼる話です。今から100年以上前に活躍したオリエンタリストの一人、英国人ラッフルがバリ島への熱い思い入れを書いた本がベストセラーになりました。更にオランダ人建築家や芸術家たちの積極的な働きもあって、欧米各国でバリ・ヒンドゥー文化をイスラム教から守ろうという一大風潮が巻き起こったのだそうです。そしてスエズ運河開通に始まった船による世界旅行ブームがバリ島を世界的な観光地に育てあげたという劇的な歴史でした。

今回の旅行は、観光は先月号の古武さんのレポートにもありました『ブサキ寺院』をメインに絞って、あとはウブドで『ヴィラとスパが楽しめるリゾートホテル』で夫婦水いらずで、ゆっくりと過ごしてみようということになりました。バリが初めての人には少々退屈かな？と心配していましたが、皆さんそれなりの楽しみ方をされ、夜になると全員で食事をしながら、その武勇伝？を披露して、まるで学生時代のゼミ旅行に戻ったような楽しい旅行になりました。

ところで『スパ』に入るか入らないかの奥様方の会話をここでご紹介しましょう。『そう言えば日本のタレントの××が年に1・2度行くんだって!』、『へーッ、花びらの浮いた風呂なんかに入って、何が楽しいのヨ?』、すると某氏の奥様すかさず『もし白い花びらだったらどうなるの・・・!?』。これには流石の私も「白い花びらに首だけ出している自分の姿」を思い浮かべてゾーッとしました。でもこれも経験だと私も家内に付き合うことにしました。3時間のフルコースは足マッサージから始まります。

次に垢こすり、全身のオイル・マッサージ、そしてペランダを大きくしたような壁のない部屋で、谷から聞こえる川のセセラギを聞きながら金色の大きな丸い風呂にゆっくりと入ります。これで終わりかと思っていたら、あと1時間、顔のパックが始まりました。男の私には初めての経験でしたが、あごの髭を逆剃りするようにスポンジで何度もこすられたときは、痛くて痛くて、苦痛の何物でもありませんでした。しかし、終わって家内と顔を見合わせて、お互いに『あれーッ、シワが綺麗に無くなっているね!』。やはり、たまには世の中の事をすべて忘れてボーッとするのもいいものだ、今でも話しております。風呂がツルツル滑べって、好みもしないのに自分の体が家内の体にくっついてゆくのは些か閉口しましたが、これも良い思い出です。

私はこれまで以上にバリにはまってしまい、先月も5度目のバリ島に行き、1000mの高原リゾート地のブラタン湖の近くにある「世界人気ベスト50に入るというハンダラ廣濟堂ゴルフ場」と、「大統領が国賓をお忍びで連れて行くというニルワナゴルフ



場」でプレーして来ました。スコアはもう一つでしたので、将来また挑戦してみたいと思っております、希望者はございませんか？

(バリ島旅行記のシリーズは今回で終了です。)

《ヒンドゥーの結婚式に出席しました》②

藤井 文明 (昭39工)

(6月号に引き続き後半を掲載します。)

2日目は結婚式です。今度は大きな会館で、司祭と助手がフランス語、英語、クレオール語で祝福をし、同様に火を焚いて祈ります。今度は花嫁もいて花婿と一緒に祭壇の回りを1時間半もぐるぐる回ります。花嫁が2日目に出てきた代わりに、今度は母親が見当たりません。これもしきたりだそうです。花嫁は従兄弟の家で顔と手足の化粧をされて婚礼衣装に着替えます。手足の化粧とは写真をご覧ください。



この日は主催者曰く親戚 250 人、友人 150 人とのことでしたが親戚とはどこまでの範囲なのか見当が付きません。やはり食事は野菜が主の薄い汁状のカレーライスでした。

3 日目は披露宴です。前日と同じ会場に着くと、歌手や踊り手が強烈な音量の音楽で歌い踊っています。新郎新婦中心の行事が終わるとご詠歌も終わり、突然音楽が鳴り出して、今度はダンスが始まりました。真っ赤なサリーに緑の宝石の額飾りを付けた新郎の妹も流麗に踊っています。ダンスが終わると、この日もカレーライスです。この日も 400 名の出席者でした。

4 日目は花嫁側が親族を呼んでお返しの振る舞いです。近く中華料理店でやっとカレーライス以外の食事とワインにありつきました。食事の終わり近くになって、英語の苦手な花嫁の両親に代わって突然お礼の挨拶を英語でやって欲しいと言われ、演説なら任せて頂きましょうとお礼の挨拶をやってしまいました。この国では英語は 3 番目の言葉ですから、かなりいい加減なしゃべり方でも気にすることはありません。双方いい加減同士で何となく通じ合えました。

この国の人達は日本人のテンポからはかなり違和感がありますが、我々が忘れていた「ゆっくり、ゆったり、あせらずに」の方が人生は楽しいことを教えてくれたような気がします。新しくできた親戚 250 人に会うだけの目的で、次にまた骨休めに行きたい筆頭の国でしょう。今年の日本人の入国者を 5 月時点で我々一行だけで 8 人に増やしてしまいましたが、もっともっと増えて当然の国と思いました。

同好会だより

ゴルフ同好会

世話人が交替しました。

渡辺 義博 (昭 58 商)

倶楽部公式行事の慶早ゴルフとは別口で、楽しくラウンドしています。ゴルフ好きの方は、仲間に入ってください。



イーゼル会

《今月の絵》



天木 明 (昭 40 商)

【イーゼル会 第 2 回グループ展】

三宮・ギャラリー「ほりかわ」にて、
7 月 5 日 (木) ～10 日 (火) まで開きます。

(11 時～6 時、最終日 4 時まで)

ギャラリーほりかわは、センター街の一つ南の筋にあります。

この模様は誌上展覧会として改めて掲載予定です。ご期待ください。

KKJC

♪KKJC 納涼ジャズパーティ♪ (懐メロ大会)

日時：7 月 22 日 (日) 18:00～

場所：げんぶ堂芦屋店 (そば・甘味処)

出演：“ルート 66” (宮本、一宮、長田、垣屋、中西、吉田) 宮本美代子、團裕子(V)
華内玲トリオ (プロ)

皆さん ますます磨きがかかったようですよ！
昨年の忘年会同様にメンバーの飛び入り演奏・唄・ダンス等も見られるかも・・・？

興味のある方、大歓迎！ メンバーまたは世話人にお尋ねください。 世話人：近藤 正 (昭 39 商)

囲碁同好会

○6 月 1 日 (金) 通常例会 8 名参加

いつもの通り午後 3 時から 9 時まで自由対局。

後、元町近くの飲み屋で反省会。

○6 月 22 日 (金) 第 3 回カネボー囲碁愛好会との懇親会 6 名参加 場所：阪神囲碁クラブ

1人3局、1局1時間～1時間半。熱戦になると、なかなか予定通りに行かない。そこで進行の遅いところは対局時計が持ち出される。そうなるとうまく集中できない。時間に追われ、誠に情けない内容の碁になる。やはり日頃から時間を気にした碁の練習をせねばと深く反省。

後の宴会で第4回は8月24日（金）実施に決定。

○6月24日（日） 第2回ヤンマー囲碁愛好会との懇親会。場所：ヤンマー宝塚保養所

それぞれ11名ずつ計22名の参加。これまでの対戦等で棋力のデータが揃い、初の団体対抗戦が実現。1人3局対戦。結局20勝13敗と我が慶應側の勝ち。3連勝した人は僅か3名で、内2人は慶應。後の宴会の美酒は格別なり。

次の第3回は来年1月14日（月）の予定。

○次回の例会は7月6日（金）水戸夕香里女流プロとの指導碁が行われます。

世話人：菊田 義正（昭42商）

会員の輪

《野球弁護士？》

手塚 祥平（平14法）

初めて投稿させていただきます。これまで、あまり本倶楽部の行事に参加できずにいましたが、今年度は幹事を務めさせていただくこととなりましたので、これを契機に積極的に参加していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

さて、今回は、私の趣味である野球それも弁護士の野球について紹介したいと思います。

私は、高校までやっていた野球を楽しむために、神戸で弁護士登録をしました。

兵庫県弁護士会には、「神戸ドルフィンズ」という野球部があるのですが、神戸で研修（司法修習）をしていた私は、このチームの魅力に取り憑かれ、大学までを過ごした東京を離れて神戸の地に飛び込む決意をしたのです（本当です）。

現在、多くの地域の弁護士会に野球部があり、年に一度の全国大会を目指して、野球小僧たちが毎週のように練習や試合に励んでいます。

この全国大会は、プロ野球の公式戦が開催されるような球場を2日間借り切って（札幌・大阪・名古屋

・西武の各ドーム等で行われてきました）、1日目には元プロ選手のゲストをお招きして講評をいただくというレベルの割に相当立派な形で行われています。

「レベルの割に」と書いたついでにレベルの話もしますと、皆様が弁護士の野球にどのようなイメージを持たれているか分かりませんが、初めて弁護士野球を見た方にはよく、「想像していたよりレベルが高い」と言われます。どれほどのレベルかと言われれば、「想像していたより」という程度ですので、ご想像にお任せするしかありません。ただ、ダントツで弁護士数の多い東京のレベルは相当なもので、甲子園や大学野球で活躍した選手もおり、ここ何年か東京の連覇が続いています（東京の監督は、テレビでもおなじみのK村弁護士です。グラウンドでもほとんど笑いません）。

全国大会に出場するには予選を突破する必要がありますが、東京のような常勝軍団以外のチームは、出場枠を振り分ける予選のブロック割についても、いろいろな理屈を考えて自説を展開し、少しでも自分のチームのチャンスが広がるように励んでいるようです。

もちろん、スキルアップに対する思いも相当なもので、盛んに遠征を組み、他地域の弁護士会の野球部との親善試合を多数こなします。我が神戸も、今年はずでに横浜と広島に行き、先日は札幌からの遠征を迎えました。

野球だけのために飛行機に乗ってまで遠征することには大変な面もありますが、いろいろな地域の弁護士と野球を通じて交流する中で、意外なところで人間関係が繋がったり、研修時代の同期に再会したりという、競技以外の楽しみもたくさんあります。ストレスや運動不足の解消にもなりますし、今のところ妻も理解を示してくれていますので（笑）、当然やめられそうにありません。今年こそ、全国大会で東京を倒して優勝できるよう、決勝まで進みたいと思います。



普段、会の行事に出席できない方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

～サマーパーティのお知らせ～

日時：7月21日（土）19時から

（受付開始18：30）

会場：北野クラブ

<http://www.kitanoclub.co.jp/>

会費：会員 10,000円（男女一律）
ビジター 11,000円（男女一律）
会員家族（高校生以上） 8,000円
会員家族（小・中学生） 5,000円
会員家族（小学生未満） 無料

今年の夏の家族例会は、リニューアルされた北野クラブで開催します。

天気が良ければ、オープンテラスでウェルカムドリンク、メインホールへ移動して会食、再びオープンテラスへ移動して、夜景とデザートを楽しむ・・・神戸ならではの贅沢を心ゆくまで満喫していただけること間違いありません！

美味しい料理と神戸の夜景を楽しんでいただいた後は、何よりも神戸慶應倶楽部の名物イベント“浦上オークション”です！

ぜひともご家族おそろいでのご参加ください。

なお、オークションについては、必ずお一人一品以上を出品して頂き、オークション売上へのご協力をよろしく願います。

締め切りは、7月13日（金）です。

注：当日キャンセルは、会費全額を頂戴しますので、ご注意ください。

当日欠席される方、また大きい品物をご提供くださる方は、前日までに下記の宛先にお送りください。なお、勝手ながら送料については各自ご負担願います。

〒650-0002 神戸市中央区北野町 1-5-7

TEL：078-222-5123

北野クラブ・大垣マネージャー（神戸慶應倶楽部気付）



『第77回大阪慶應倶楽部創立記念祝賀会』

日時：7月17日（火）18：30～21：00

場所：ホテルインターナショナル 6階「瑞鳥」

会費：平成9年卒以前の塾員 9,000円

平成10年卒以降の塾員 6,000円

平成19年新卒者 無料ご招待

記念講演：「地方から日本を変える」

講師 慶應義塾教授 浅野 史郎氏

参加ご希望の方は、7月9日（月）までに事務局にお申込ください。（申込後の連絡ナシ欠席についてはキャンセル料がかかりますのでご注意ください。）

「新大学院創設の説明会」

2008年4月に開設される「システムデザイン・マネジメント研究科」及び「メディアデザイン研究科」の説明会が開催されます。

日時：7月13日（金）18：30～

場所：帝国ホテル大阪 4階宴会場

参加申込は、下記HPからの事前予約が必要です。

<http://www.keio.ac.jp/>

◎ 8月例会は休会になります。

◎ 9月例会は9/20（木）です。

～～事務局よりお願い～～

- ◎ 例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、当日のキャンセルにつきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。
- ◎ 住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

編集後記

○ 遅い梅雨しかも緩急の激しい天気。雨に咲く紫陽花もいいけど、爽やかな青空の下でのゴルフもいい…わがままですね。いいえ順応性が高いのです（？）
○ 旅を楽しむ、本当に羨ましい。旅行記どんどん寄せられて嬉しい限りです。まだまだ続きそうですよ。
○ 毎月のこのコラムも種切れになってしまつて…（ほ）